

平成28年度 第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成28年10月25日 県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	島袋秀勝 下里哲弘 平良あき子 古荘みわ 真喜屋治 榎本拓也 友利清和	
審議対象期間	平成28年4月1日 ～ 平成28年7月31日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 195件	総件数 196件
①一般競争入札	72件	16件
②総合評価	47件	24件
③指名競争入札	69件	151件
④随意契約	7件	7件
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり (総質問件数 7件)	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	
その他の意見	特になし	

## 平成28年度 第2回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「八重山管内港湾施設空調設備更新工事」について、Cランク業者対象であるが、業者数が不足するため、不足分は上位等級から指名しているが、より等級の低い業者に機会を与える仕組みがあるか。</p>	<p>A 1 小さい工事は離島ではなかなか落札しないのが現状である。業者等のヒアリングを行い、ランクの低い業者も参加できるよう要件の緩和を行っているところである。</p>
<p>Q 2 「久米島高校農業実習室棟改築工事(設備)」について、電気設備、機械設備工事一式となっているが、資格要件では、電気工事業の登録業者のみを要件設定している。管工事の資格は必要ないのか、それとも電気、管工事を別々で発注するべきではなかったのか。</p>	<p>A 2 本工事は電気及び機械設備工事ということで、これらを設備工事として発注した工事である。離島の場合、小さな工事だとなかなか応札者がいないということがあり、まとめて発注した。 その上で、電気と機械の設計金額の比率が大きい方を要件として設定した。今回は、電気の方を要件設定し、機械については、下請工事としている。</p>
<p>Q 3 「西原第3地区ほ場整備工事(H28-2)」について、2位のB建設が落札しているが、1位のA建設の技術者欠格とはなにか。</p>	<p>A 3 落札者は専任で技術者を配置する必要があるが、A建設は評価点も高く1位であったが、専任で技術者が配置できないとのことから2位のB建設が落札者となった。</p>
<p>Q 4 「西原第3地区ほ場整備工事(H28-2)」について、ヒアリング辞退とあるが、全社に(技術者)ヒアリングをしたのか。</p>	<p>A 4 ここでいう、ヒアリング辞退は、低入札調査基準価格を下回った業者へのヒアリングである。 当部の場合は、総合評価では簡易型と特別簡易型しか行っていないため、標準型のヒアリング等は今のところ行っていない。</p>

Q 5

「航空機整備基地新築工事監理業務」について、1 者随意契約であるが、入札回数が 15 回となっている。業者も相当厳しい中、この金額まで落としてきた印象を受けるがどうか。

Q 6

「警察本部庁舎防災設備更新工事」について、消防施設工事業は、何社ぐらいの登録があるのか。また、ランク付けはあるのか。

A 5

随意契約で入札回数の制限は特に決められていないため、このような結果となった。

A 6

30 社程度の登録が有り、ランク付けは行われていない。